



2018年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年1月30日

上場会社名 アルプス電気株式会社
 コード番号 6770 URL <http://www.alps.com/j/ir/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗山年弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画、経理・財務、総務・環境担当 (氏名) 氣賀洋一郎
 四半期報告書提出予定日 2018年2月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け電話会議)

上場取引所 東

TEL 03-5499-8026

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第3四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|--------|------|--------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2018年3月期第3四半期 | 644,247 | 16.7 | 59,458 | 81.0 | 58,097 | 78.7 | 44,415 | 57.5 |
| 2017年3月期第3四半期 | 551,865 | 6.0 | 32,842 | 26.6 | 32,508 | 26.1 | 28,197 | 24.2 |

(注)包括利益 2018年3月期第3四半期 62,791百万円 (106.2%) 2017年3月期第3四半期 30,455百万円 (22.2%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年3月期第3四半期 | 226.72 | 226.63 |
| 2017年3月期第3四半期 | 143.94 | 143.90 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2018年3月期第3四半期 | 695,583 | 415,375 | 43.3 | 1,537.26 |
| 2017年3月期 | 602,961 | 361,114 | 42.2 | 1,299.11 |

(参考)自己資本 2018年3月期第3四半期 301,155百万円 2017年3月期 254,501百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2017年3月期 | | 15.00 | | 15.00 | 30.00 |
| 2018年3月期 | | 17.00 | | | |
| 2018年3月期(予想) | | | | 20.00 | 37.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|------|--------|------|--------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 855,000 | 13.5 | 71,000 | 60.0 | 67,000 | 56.8 | 50,500 | 44.6 | 257.78 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|---------------|------------|---------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2018年3月期3Q | 198,208,086 株 | 2017年3月期 | 198,208,086 株 |
| 期末自己株式数 | 2018年3月期3Q | 2,303,666 株 | 2017年3月期 | 2,302,846 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2018年3月期3Q | 195,904,866 株 | 2017年3月期3Q | 195,904,276 株 |

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

2018年1月30日(火)に当社ホームページに掲載します。

(日付の表示変更について)

当第3四半期より、日付の表示を和暦から西暦へ変更しています。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 6 |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |
| 3. 補足情報 | 8 |
| 電子部品セグメントの販売実績内訳 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国では、製造業を中心とした企業業績及び個人消費も回復が続きました。欧州でも、企業の設備投資や個人消費が堅調で、ドイツを中心に失業率も低下するなど拡大傾向となりました。中国では、公共投資を下支えにして景気は安定的に推移しました。日本経済は、企業の活発な生産活動や堅調な個人消費などにより景気は緩やかに回復しました。

当第3四半期連結累計期間における経営成績の概況については、以下のとおりです。なお、下記に示す売上高は外部顧客に対する売上高であり、報告セグメント間売上高（例：電子部品事業から車載情報機器事業向けの売上（製品の供給）や、物流事業における電子部品事業及び車載情報機器事業向けの売上（物流サービスの提供））は、内部取引売上高として消去しています。

セグメントの状況

<電子部品事業>

エレクトロニクス業界は、自動車市場において、米国での新車販売台数が前年比で減少傾向であったものの、欧州や中国を中心に全体では好調を維持しました。モバイル市場においては、スマートフォンで、中国では市場の一体感があつたものの、新製品を投入した韓国・北米メーカーが牽引し、概ね好調さを維持しました。ゲーム市場も、VR（バーチャルリアリティ）搭載製品が好調で、IoT（Internet of Things）市場では、さまざまな市場で具体的な活用の動きが活発化しました。

この中で電子部品事業では、車載市場は全般的に堅調に推移し、民生その他市場ではスマートフォン向け各種コンポーネント製品が依然として高水準となり、ゲーム機向け各種製品も順調さを維持しました。以上に加え、為替が期初の想定よりも円安に推移したこともあり、業容は着実に拡大しました。

[車載市場]

電子部品事業における車載市場では、電気自動車に対する動きが各メーカーで活発化し、自動運転車の開発も新たなステージに進みはじめました。これらに伴って電子化の動きが更に加速する中、電子シフターやドアモジュールなどのモジュール製品、Bluetooth®、W-LAN、LTEなどの通信用高周波製品及びセンサをはじめとした各種車載デバイス製品など、全般にわたって堅調に推移しました。

当第3四半期連結累計期間における当市場の売上高は2,094億円（前年同期比13.3%増）となりました。

[民生その他市場]

電子部品事業における民生その他市場では、モバイル市場において、中国・北米スマートフォンの堅調な動きにより、カメラ用アクチュエータが依然として高水準を維持し、スイッチなどコンポーネント製品も順調に推移しました。ハブティック®は、引き続きゲーム機向けの需要への対応と拡販活動に注力するとともに、国内外で技術プレゼンテーションによるプレゼンスの向上にも取り組みました。EHII（Energy、Healthcare、Industry、IoT）では、国内のCEATECや中国などで開催されたIoT関連展示会に参加し、産業機器やエネルギーなど各種市場ニーズの把握と新規需要の掘り起こし製品提案を積極的に進めました。

当第3四半期連結累計期間における当市場の売上高は1,857億円（前年同期比37.6%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の電子部品事業の売上高は3,952億円（前年同期比23.6%増）、営業利益は464億円（前年同期比99.6%増）となりました。

<車載情報機器事業>

カーエレクトロニクス業界は、自動車の電子化が加速する中、インフォテインメントシステムを核とした車載情報分野と、自動運転やAI（人工知能）など新分野との連携が拡大し、業種・業態を超えた競争が激化しています。

このような中、車載情報機器事業（アルパイン(株)・東証一部）では、2017年4月から3カ年の「第14次中期経営計画」を策定しました。この計画に基づき、国内技術開発子会社を吸収合併して技術開発力を強化するとともに、期初に統合した国内製造子会社3社の生産性向上を図るなど、グループ再編による構造改革を実施し、より強固な事業基盤の構築を進めました。また、ソフトウェアの性能や品質向上のため、(株)シーズ・ラボとの資本及び業務提携の強化を行い子会社化し、コニカミノルタ(株)が開発した3D AR（拡張現実）技術を活用したHUD（ヘッドアップディスプレイ）の量産化を目指し、同社との共同開発を開始しました。更に、新たなビジネスとして「アルパインスタイル・カスタマイズカー」の販売を開始しました。以上に加え、国内市販市場向け車種専用製品や中国市場における自動車メーカー向け純正品の売上が伸長する中、為替が期初の想定よりも円安に推移したことから、当初の予想を上回る業績となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の車載情報機器事業の売上高は1,916億円（前年同期比8.1%増）、営業利益は92億円（前年同期比99.7%増）となりました。

<物流事業>

物流事業の主要顧客である電子部品業界では、引き続き車載関連及びスマートフォン向けの電子部品の生産が好調に推移しました。

このような需要動向のもと、物流事業（(株)アルプス物流・東証二部）では、グローバルに拠点・倉庫・ネットワークの拡充や、新市場の顧客開拓と受託エリアの拡大に向けた営業活動を行い、取扱貨物量の拡大を図るとともに、運送・保管・輸出入各事業それぞれの生産性向上に取り組みました。国内では、千葉県船橋市に倉庫を開設し、今後の輸出入事業の拡大に対応していきます。また、埼玉県加須市に事業用地を取得し、2018年5月竣工予定の倉庫建設に着工しました。海外では、香港での事業拡大に伴う倉庫の再編による保管能力の拡張を図り、更に、ベトナム・ハノイに現地法人を、米国テキサス州ダラスに営業事務所を開設しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の物流事業の売上高は484億円（前年同期比6.6%増）、営業利益38億円（前年同期比3.0%減）となりました。

以上により、上記の3事業セグメントにその他を加えた当第3四半期連結累計期間の当社グループにおける連結業績は、売上高6,442億円（前年同期比16.7%増）、営業利益594億円（前年同期比81.0%増）、経常利益580億円（前年同期比78.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益444億円（前年同期比57.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明**資産、負債及び純資産の状況**

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末と比べ926億円増加の6,955億円、自己資本は466億円増加の3,011億円となり、自己資本比率は43.3%となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加等により、前連結会計年度末と比べ548億円増加の4,345億円となりました。

固定資産は、機械装置及び運搬具、建設仮勘定の増加等により、前連結会計年度末と比べ377億円増加の2,610億円となりました。

流動負債は、短期借入金、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末と比べ315億円増加の2,196億円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ68億円増加の605億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、米国及び欧州ともに好調な企業業績や底堅い個人消費を背景に、今後も堅調さを維持することが見込まれます。中国でも、一貫した政策のもと安定成長が続き、これらに呼応して新興各国でも景気の拡大が見込まれています。日本経済は、企業業績が改善する中で、今後も緩やかな回復基調が続く見通しです。

このような経済環境のもと、当社グループでは、昨年度からスタートした第8次中期経営計画で、「持続的成長が可能な会社」を目指す電子部品事業を中心に、次期ビジネスの確固たる基盤確立に注力する車載情報機器事業、グローバルネットワークの拡充により拡大を目指す物流事業がそれぞれ力を発揮し、業績向上及び企業体質の強化を図っていきます。

<通期連結業績予想>

| | | | |
|-----------------|---------|---------------|----------------|
| 売上高 | 8,550億円 | (修正計画 8,207億円 | 2017年10月30日開示) |
| 営業利益 | 710億円 | (同上 673億円 | 同上) |
| 経常利益 | 670億円 | (同上 645億円 | 同上) |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 505億円 | (同上 490億円 | 同上) |

業績予想の前提となる見積り為替レートについては、以下のとおりです。

第4四半期（予想） 1米ドル=108.00円、1ユーロ=127.00円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2017年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日) |
|------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 118,968 | 127,092 |
| 受取手形及び売掛金 | 146,128 | 172,863 |
| 商品及び製品 | 55,109 | 63,100 |
| 仕掛品 | 10,963 | 12,109 |
| 原材料及び貯蔵品 | 23,556 | 28,314 |
| 繰延税金資産 | 6,618 | 8,411 |
| その他 | 18,796 | 23,094 |
| 貸倒引当金 | △426 | △428 |
| 流動資産合計 | 379,713 | 434,558 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 130,433 | 133,924 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △93,465 | △95,994 |
| 建物及び構築物 (純額) | 36,968 | 37,930 |
| 機械装置及び運搬具 | 204,275 | 235,417 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △152,952 | △163,798 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 51,322 | 71,619 |
| 工具器具備品及び金型 | 128,353 | 136,031 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △111,952 | △117,079 |
| 工具器具備品及び金型 (純額) | 16,400 | 18,951 |
| 土地 | 29,580 | 30,766 |
| 建設仮勘定 | 15,513 | 23,997 |
| 有形固定資産合計 | 149,785 | 183,266 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 16,773 | 17,947 |
| 投資有価証券 | 23,314 | 26,193 |
| 繰延税金資産 | 11,039 | 10,821 |
| 退職給付に係る資産 | 60 | 45 |
| その他 | 25,080 | 25,643 |
| 貸倒引当金 | △2,805 | △2,892 |
| 投資その他の資産合計 | 56,688 | 59,811 |
| 固定資産合計 | 223,247 | 261,025 |
| 資産合計 | 602,961 | 695,583 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2017年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 74,197 | 86,874 |
| 短期借入金 | 37,428 | 52,276 |
| 未払費用 | 17,169 | 21,243 |
| 未払法人税等 | 7,780 | 7,080 |
| 繰延税金負債 | 70 | 219 |
| 賞与引当金 | 10,432 | 7,692 |
| 製品保証引当金 | 6,060 | 7,010 |
| その他の引当金 | 386 | 442 |
| その他 | 34,557 | 36,783 |
| 流動負債合計 | 188,084 | 219,623 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 25,843 | 32,268 |
| 繰延税金負債 | 4,696 | 4,928 |
| 退職給付に係る負債 | 17,295 | 17,693 |
| 環境対策費用引当金 | 593 | 590 |
| その他の引当金 | 262 | 213 |
| その他 | 5,070 | 4,890 |
| 固定負債合計 | 53,762 | 60,584 |
| 負債合計 | 241,846 | 280,208 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 38,730 | 38,730 |
| 資本剰余金 | 56,071 | 56,065 |
| 利益剰余金 | 172,677 | 210,815 |
| 自己株式 | △3,493 | △3,496 |
| 株主資本合計 | 263,985 | 302,114 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,479 | 5,155 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | △1 |
| 土地再評価差額金 | △506 | △505 |
| 為替換算調整勘定 | △8,481 | △871 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △4,976 | △4,735 |
| その他の包括利益累計額合計 | △9,483 | △958 |
| 新株予約権 | 248 | 333 |
| 非支配株主持分 | 106,365 | 113,886 |
| 純資産合計 | 361,114 | 415,375 |
| 負債純資産合計 | 602,961 | 695,583 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 551,865 | 644,247 |
| 売上原価 | 440,473 | 497,540 |
| 売上総利益 | 111,392 | 146,707 |
| 販売費及び一般管理費 | 78,549 | 87,249 |
| 営業利益 | 32,842 | 59,458 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 234 | 373 |
| 受取配当金 | 328 | 333 |
| 持分法による投資利益 | 847 | - |
| 為替差益 | 1,011 | 593 |
| 雑収入 | 1,121 | 1,266 |
| 営業外収益合計 | 3,544 | 2,567 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 346 | 565 |
| 年金債務に係る損失 | 1,054 | - |
| 持分法による投資損失 | - | 392 |
| 支払手数料 | 256 | 1,687 |
| 雑支出 | 2,220 | 1,282 |
| 営業外費用合計 | 3,878 | 3,928 |
| 経常利益 | 32,508 | 58,097 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 156 | 319 |
| 関係会社株式売却益 | 7,696 | - |
| その他 | 947 | 88 |
| 特別利益合計 | 8,800 | 407 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 171 | 212 |
| 建物解体費用 | - | 86 |
| その他 | 121 | 65 |
| 特別損失合計 | 292 | 364 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 41,016 | 58,139 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 11,879 | 9,778 |
| 法人税等調整額 | △4,518 | △1,793 |
| 法人税等合計 | 7,360 | 7,985 |
| 四半期純利益 | 33,655 | 50,154 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 28,197 | 44,415 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 5,457 | 5,739 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,347 | 1,841 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1 | △3 |
| 為替換算調整勘定 | △3,375 | 9,931 |
| 退職給付に係る調整額 | 2,421 | 317 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △3,595 | 549 |
| その他の包括利益合計 | △3,199 | 12,636 |
| 四半期包括利益 | 30,455 | 62,791 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 25,824 | 53,474 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 4,630 | 9,317 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 財務諸表 計上額 (注)3 |
|-----------------------|------------|--------------|--------|---------|-------------|---------|-------------|------------------------------|
| | 電子部品 事業 | 車載情報 機器事業 | 物流事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 319,905 | 177,347 | 45,455 | 542,709 | 9,156 | 551,865 | — | 551,865 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 7,346 | 4,043 | 28,209 | 39,599 | 10,068 | 49,667 | △49,667 | — |
| 計 | 327,252 | 181,390 | 73,665 | 582,308 | 19,224 | 601,533 | △49,667 | 551,865 |
| セグメント利益 | 23,258 | 4,637 | 3,939 | 31,835 | 1,033 | 32,868 | △26 | 32,842 |

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システムの開発、オフィスサービス、金融・リース事業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△26百万円は、セグメント間取引消去です。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が低いため、記載を省略しています。

3. 地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

| 日本 | アメリカ | 中国 | ドイツ | その他 | 計 |
|---------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 111,456 | 99,053 | 86,514 | 52,811 | 202,029 | 551,865 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 財務諸表 計上額 (注)3 |
|-----------------------|------------|--------------|--------|---------|-------------|---------|-------------|------------------------------|
| | 電子部品 事業 | 車載情報 機器事業 | 物流事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 395,271 | 191,692 | 48,453 | 635,417 | 8,830 | 644,247 | — | 644,247 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 9,997 | 5,820 | 30,653 | 46,470 | 10,277 | 56,748 | △56,748 | — |
| 計 | 405,268 | 197,512 | 79,106 | 681,887 | 19,108 | 700,996 | △56,748 | 644,247 |
| セグメント利益 | 46,413 | 9,260 | 3,822 | 59,496 | 1,220 | 60,716 | △1,258 | 59,458 |

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システムの開発、オフィスサービス、金融・リース事業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△1,258百万円は、連結に伴う組替調整額及びセグメント間取引消去です。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が低いため、記載を省略しています。

3. 地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

| 中国 | 日本 | アメリカ | ドイツ | その他 | 計 |
|---------|---------|---------|--------|---------|---------|
| 116,577 | 115,477 | 100,234 | 59,654 | 252,303 | 644,247 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

3. 補足情報

電子部品セグメントの販売実績内訳

電子部品セグメントの販売実績内訳は、次のとおりです。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日) | | 当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日) | | 対前年同四半期比 | |
|---------|--|-------------|--|-------------|--------------|------------|
| | 売上高 (百万円) | 構成比率 (%) | 売上高 (百万円) | 構成比率 (%) | 増減額 (百万円) | 増減率 (%) |
| 電子部品事業 | 319,905 | 58.0 | 395,271 | 61.4 | 75,365 | 23.6 |
| 車載市場 | 184,905 | 33.5 | 209,493 | 32.5 | 24,588 | 13.3 |
| 民生その他市場 | 135,000 | 24.5 | 185,777 | 28.9 | 50,777 | 37.6 |

(注) 構成比率は連結売上高に対する比率です。